

第 11 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 11 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 27 年 7 月 23 日（木）午前 10 時～12 時 15 分
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	懇談会委員 23 名（欠席 5 名）
傍 聴 者	8 名
次 第	1 杉並和泉学園視察について 2 今後の進め方について 3 新校舎配置計画について 4 その他
資 料	資料 1 今後のスケジュール 資料 2 事業計画工程表 資料 3 改築概要について 資料 4 配置計画案の比較検討

会長	<p>それでは皆さん、おはようございます。雨も上がったかと思いますが、お忙しい中、高円寺中学校までおいでいただきましてありがとうございます。</p> <p>ただいまより第 11 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開会させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>本日ですが、中島委員、松谷委員、西山委員から欠席の連絡をいただいております。また、本日、傍聴を希望された方がおりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、配付資料の確認を最初にしたいと思います。今まで事務局から、事前に委員の方々にはお送りしていたのですけれども、開催通知にも書かせていただきましたとおり設計事務所との打ち合わせ等に時間がかかりますので、基本設計時、今年度につきましては当日の机上配付ということでご容赦いただければと思います。</p> <p style="text-align: center;">（配付資料確認）</p> <p>それでは、本日の議題に入ります前に、新年度になりまして事務局職員に異動がございました。前回、杉並和泉学園の視察で、バス車内で紹介等させていただいたのですけれども、前回欠席された部長さんがいらしていますので、自己紹介いただければと思います。お願いします。</p>
学校整備担当 部長	<p>皆さん、おはようございます。4月に教育委員会事務局の学校整備担当部長になりました大竹と申します。教育委員会は、今回、組織改正をいたしまして、学校の改築部門である従前の学校整備課を部のほうに格上げをしまして、私と職員を増員して、今、学校 3 校の全面改築を予定していますけれども、よりよい学校づくりを目指して体制を再構築したというところでございます。</p>

	<p>私は、事務職ではなくて建築技術職でございます。若いときからずっと営繕課や、学校の施設課にいまして、学校の改修、全面改築を何度か経験してございます。多分、それでこの度、学校整備担当部長を拝命したと思います。</p> <p>高円寺地域では、これから基本設計に入ってまいります。きょう初めて、具体的にどういう絵面でどういう配置がいいかということが形として資料が出てきます。今後は、技術的な話が入ってこようかと思っておりますけれども、よりよい学校づくりを目指して皆さんと力を合わせて頑張りたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>きょうから基本設計ということなので、建築部門では区の営繕課の方々と、新しい学校の設計をしていただくことになりました設計事務所の方々にもおおいでいただいております。後ほどの設計の議題の際に自己紹介をしていただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、次第1から始めてまいりたいと思っております。前回の杉並和泉学園視察についてです。同じ区立の学校なのですけれども、建築条件等、この高円寺とはかなり違う部分もございまして。平面計画であったり、小中一貫教育校としての運営であったり、非常に参考になる面も大きかったように思いますし、これからも杉並和泉学園にはいろいろな面で教えてほしいということをお話しさせていただいて、先方もいつでもどうぞと話をしてくださっております。</p> <p>視察当日に配付させていただきましたアンケートへのご協力、本当にありがとうございました。皆さん方のご意見をまとめておりますので、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>おはようございます。それでは、杉並和泉学園の視察に対するアンケートの結果につきましてご説明させていただきます。</p> <p>アンケート用紙では、高円寺地域の新しい学校づくりに取り入れたいこと、高円寺地域の新しい学校では改善・配慮したいこと、あとその他という3項目に分けてアンケートをさせていただいてご回答をいただいております。異なる項目の中で、同様の意見が混ざっていたりしましたので、今回、「ハード面」、「ソフト面」、あと「その他」という3項目に分類して整理させていただいております。</p> <p>まず、「ハード面」ですけれども、「教室」に関しましては、天井は高くしてほしい、死角はつくらないでほしい、広い窓、明るい教室、緑が見える構造が望ましいなどのご意見をいただいております。杉並和泉学園が小中並列で小学部棟、中学部棟と配置されていますけれども、高円寺の新しい学校では、縦に、層のように積み上がっていくイメージを持ったというご意見をいただいております。</p> <p>「その他の諸室」としましては、アルコールやグループ、個別学習のコーナーの適度な狭さ、あとは設置数を参考にしたいというご意見がございました。オープンスペースは必ずしも多く広く設けなくてよい、ランチスペースを設けるのであれば食事ができる雰囲気の方が望ましい、ラーニングセンター、図書室の畳スペースなども設置してほしい。ラーニングセンター、ランチスペースなどのような、小学生と中学生、学校と地域が交流できるようなスペースも設置してほしい。1から9年生までの交流がスムーズにできる計画にしてほしい。昇降口は小中一緒が望ましい。杉並和泉学園</p>

	<p>では小中が別々に分かれているように感じたというご意見をいただいております。あとは、防犯面、防災面の昇降口、管理諸室の配置に配慮してほしい。細かいところでPTA室を設置してほしいというご意見がございました。</p> <p>次に、「運動スペース」に対しては、小中独立運動施設を、小アリーナと大アリーナのことだと思いますが、確保することが望ましい。運動会は、どこかこのグラウンドではないところを活用するのかがちょっと気になっていると。</p> <p>「地域スペース」については、地域コミュニティーの場を設けてほしい。地域と子どもたちがともに歩むスペースが必要ではないかというご意見をいただいております。</p> <p>「防災面」では、杉並和泉学園小アリーナが外階段から直接入れるような仕組みになっていたかと思しますので、そういうところを参考にしたいというご意見をいただいております。ほかには震災救援所についてや防災倉庫の設置、防火・防災に強い構造にしてほしいというご意見をいただいております。</p> <p>「学童」につきましても、杉並和泉学園を見て、やはり校舎内に学童があることは参考にしたいというご意見をいただいております。</p> <p>「外構」ですが、緑に囲まれた環境にしてほしい、校庭に人工芝が欲しい。</p> <p>「その他」として、杉並和泉学園は広々とした空間が多くあり、また、和泉中を改修して上手に使っているようだが、高円寺は限られたスペースで割り振らなければならないので、工夫が必要だと感じた。スペースがない分、小中で場所を上手に共有できる学校になればと思うというご意見をいただいております。あとは、自然エネルギーやきれいな空気を取り入れる構造などの構造的な要望がございました。</p> <p>「ソフト面」に入ります。ハード面にもあてはまりますがバリアフリーについての要望も出されております。学校運営について、1から9年生のクラス表示がわかりにくかったので、今までの学年表示にしてほしいというのは、「9-1」の呼称がわかりにくいというご意見だったのかなと思います。これについては各学校で、高円寺は高円寺で検討することかと思っております。各学年の特性を生かした教育を推進したい、小中の初めと終わりのチャイム、いすとテーブルの高さ、3校の歴史などのデータ化、あとは標準服についてのご意見がございました。</p> <p>通学路はやはり気になる場所でございますので、児童の安全な通学路を検討してほしい。その他のところでは、ソフト面でもないのですけれども、中学部進学に希望が持てるようなハード面、ソフト面での環境づくり。同様に、一体校であるメリットをいかに出すかがハード面、ソフト面での課題となるような一体校としてのよさをどう出していくかというようなご意見をいただいております。</p> <p>以上が杉並和泉学園視察のアンケート結果でございます。さまざまご意見を寄せていただきまして、本当にありがとうございました。私からの説明は以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。本当に多くのご意見をありがとうございました。昨年度は新しい学校づくりの基本的なところということで、委員の皆様方と1年間話をしてまいりました。基本設計がこれからということになりますが、委員の皆様のご意見を吸収しながら詰めていければなと思っております。</p> <p>今もアンケートのまとめをご説明いただいたのですけれども、こんなところは高円寺地域ではこういうふうにしたほうがいいであったり、参考にしたいというようなところも多々あったと思うのですけれども、今出た以外のところで、何かご意見ござい</p>

	<p>ましたら伺っておきたいのですけれども、いかがでございますか。特にこの場ではございませんでしょうか。</p> <p>（「はい」という声あり）</p> <p>それでは、いただいたご意見については、参考にさせていただきながら進めていきたいと思っております。また何かございましたら、事務局にお問い合わせいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第2に進ませていただければと思います。今後の進め方ということでございます。先ほどもご説明がございましたが、今年度は、基本設計を進めていく予定になっております。具体的にどのような時期までに何を考え、何をまとめていく必要があるかということ、そのあたりの段取りについて、事務局から説明いただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>それでは、資料1「今後の進め方」という資料がございますので、そちらをごらんください。まず、一番下の項目に「参考」という欄がございます。これは第1回懇談会資料4においても提示させていただいております開校までのおおよそのスケジュール案でございます。上から3段目の「校舎改築等」という項目についてですが、開校に向けて工事は平成29年から平成30年を予定しております、それに向けてこの平成27年、28年で基本設計と実施設計を進めていく予定となっております。</p> <p>詳細につきましては、次の次第の「新校舎配置計画」の中で設計事務所からご説明いただきますけれども、新校の施設規模を考慮しますと、工事や実施設計に若干期間が必要になってくるかなと思っております。逆算していきますと、年明けの1月には実施設計を始める必要が出てきますので、期間的には非常にハードで恐縮なのですけれども、基本設計はことしの12月には確定している必要があります。それに向けて懇談会委員の皆様からどのようにご意見を伺っていくかという予定になりますけれども、資料の項目1になりますけれども、「平成27年度の懇談会スケジュール案」をごらんください。</p> <p>前回、5月の第10回懇談会におきましては、杉並和泉学園を視察いたしました。今回、第11回から基本設計に入ります。まず、本日は新校舎配置計画につきまして、数点案を提示させていただき、ご意見を伺っていきたくと考えております。本日のご意見を踏まえまして、次回の第12回に、修正した配置計画と合わせまして、平面計画の案も少しずつお見せしてご提案させていただきまして、そちらでまたご意見を伺っていきたくと思っております。もちろん委員の皆様のご意見次第ではございますけれども、配置計画につきましては、徐々に案を絞って、今回と次回で修正いただいた案を参考にしながら、方向性は次回ぐらいで固まってくるのではないかと考えておりますが、予備として第13回を設けているとお考えいただければと思っております。平面計画につきましては、やはり児童と生徒の交流が重要な着目点になってくるかと思っておりますので、そこに時間をかけていきたくと考えております。</p> <p>平面計画につきましては、懇談会で委員の皆様から意見を伺うのと同時に、3校の先生方からも随時意見を伺って、より望ましい教育環境の確保に尽力していきたくと考えておりますので、どうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p> <p>懇談会では、次回の第12回、8月下旬を今のところ予定していますけれども、第14回までの3回にかけて、皆様からご意見を伺って、第15回には、その確定した平</p>

	<p>面計画を提示させていただきたいと考えておりまして、12月まで少し余裕があるかとは思いますが、残りの1カ月間は設計事務所に基本設計の報告書等を作成していただく必要がございますので、その期間として設けさせていただいておりますので、この段階での意見は11月がリミットと。意見としては10月ぐらいに出し切ったほうがいいかなと今のところ考えております。これはあくまでも予定ですので、皆様のご意見を重視していきたいと考えております。</p> <p>11月以降におかれましては、年度内に2回ほど開催いたしまして、新校開校に向けてのソフト面である校名、校歌、校章とか、通学路の議論を少しずつ進めてまいりたいと考えております。</p> <p>来年度以降は、項目2に記載のとおり、検討のタイミング等はこれから会長とまた相談させていただきたいとは思いますが、教育目標や先ほどのアンケートにあったような標準服とか、細かいところも議題として取り上げていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>今後の進め方につきまして、説明は以上でございます。</p>
会長	ありがとうございます。現在の説明につきまして、何かご質問はございますか。
委員	11月下旬には確定していくということなのですが、これだけの回数で足りるのかなというのがちょっと不安なところがございます。その点について何かお考えがあるかどうか。例えば、別途部会的なものを追加するのか。そこら辺のお考えを聞かせていただきたいと思います。個人的には少ないと思います。
教育施設計画推進担当係長	部会ですが、杉並和泉学園では、芝生にかなり力が入っておりましたので、芝生に特化した部会を設置してまいりました。今回も、高円寺の皆様が平面計画を見たときに、どういうところに注目されるのか。こういうところはちょっと集中して議論したいというお話がございましたら、部会等を設置して、この間で開催して、その足りないという部分を補充していきたいと考えております。
会長	よろしいですか。
委員	そうすると、基本的にはそういう部会をつくらずに、このままこの全体の中でまとめていくということですか。
教育施設計画推進担当係長	そうですね。やはり委員の皆さんの意見は共有しながらまとめていったほうがよいかと思っております。先ほど申し上げた杉並和泉学園の芝生の事例に関しては、専門的な方々が多かったものですから、専門的な視点からそういった部会を開かせていただいた経緯がございます。高円寺におかれまして、またそういったものがあれば設置してまいりますけれども、基本的にはこの懇談会の中で、もし足りないということであれば、皆様のご都合次第になってしまうのですが、タイトに会を開ければとは考えております。
委員	必要であればということなのだけでも、必要になった時点では遅くないですか。起きてしまったから部会をつくってやりましょうというのは、ちょっと不安です。例えば、このスペースがぎりぎりのスペースで、仮設校舎をどうしようとか、問題が山積みになっているのではないですか。それでも部会も何もしないで、いきなり正面突破してしまうのですか。
学校整備担当	今まで何校か改築をやってきましたが、配置計画はどこに校舎を置くか、校庭をど

部長	<p>こにするかという話。平面計画というのは、詳細設計の実施設計ではございませんので、部屋をどう並べて、普通教室は何年生がどこに来て、体育館、多目的ルーム、図書室だとかがどこに来るよとか、それで日当たりがどうなのだというパイロットプランが平面計画でございます。</p> <p>今、ご懸念されている、11月ぐらいまでに詳細が決まるかどうか不安ということですが、詳細の実施設計というのは続けてやっていくわけですが、実施設計をやっていく中で、先ほどもありましたけれども、学校の先生に細かくヒヤリングをして、細部のつくり方、それから防犯対策を含めて、あと動線、それから図書室のあり方。それはもう先生方と基本設計の終わりの段階から実施設計を含めて、ずっと打ち合わせをしていきます。ご懸念の決まっていなくていいところだとか、後で修正が必ず出てきます。修正も必ずあってフィードバックしますので、部会というよりも、この全体会議の方が、逐次議論できますし、変更の報告もさせていただけるかと思えます。</p> <p>もう1つ質問があった仮設のプレハブとか、工事期間中の対応というのも大変重要な話でございますので、それは、私どもの区役所と設計事務所がどこまで検討して、どのような資料を皆さんに、わかりやすい資料をつくって説明できるかにかかっていると思います。それ次第によって皆さんから本音の話を引き出すと言いますか、意見を出しやすくし、早くまとまるよう事務局が尽力しなくてはならないと思っていますから、きょうの時点では頑張って11月の時点で終わるようにやらせていただきたいというのがお願いです。</p>
会長	ありがとうございます。
委員	この11月の平面計画確定というのは、中の部屋の区割りまでは考えていないということですか。
学校整備担当部長	例えば図書室、体育館はこの辺に置きますとか、1年生のクラスはこの辺に並べますとかいう話、中学生はこの辺に来ますというのは、この平面計画の中で決めさせていただきます。部屋の中の造作の細かい話とか、棚や収納、窓をどうするとかいうのは、実施設計に入ってきます。
委員	そうすると、この時点で教室数は確定するということで理解してよろしいですか。
学校整備担当部長	配置は確定したいと思います。
会長	<p>よろしいでしょうか。それでは、今も説明がございましたが、この後の流れによっては、また委員の方々に余分に来ていただくかもしれないが、そのあたりはこの後の進み方を考えながら事務局とも相談していきたいと思っております。</p> <p>また、開校までのスケジュールにつきましては、設計事務所のほうからも詳しいご説明があると思っておりますので、今年度の懇談会につきましては、一応、これを基本として考えていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」という声あり)</p> <p>ありがとうございます。それでは、これを念頭に置きながら進めていきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p> <p>では、次の次第にまいりたいと思います。次第3が新校舎配置計画ということで、基本設計についての議題になります。ここで、本日も出席いただいております区の営</p>

	繕課の皆様と設計事務所の方々に、まず自己紹介をしていただければと思います。よろしく申し上げます。
施設整備担当課長	営繕課の施設整備担当課長の伊藤と申します。これから具体的に設計とか工事の担当をしてみますので、皆様のご意見をなるべく酌み上げて、よりよい学校をつくりていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。
営繕係長	営繕係長の塚田と申します。よろしくお願ひいたします。
営繕係	同じく営繕係の建築を担当します恩田と申します。よろしくお願ひいたします。
会長	よろしくお願ひいたします。営繕課の皆さんは以上ですね。では、設計事務所の方、お願ひいたします。
教育施設研究所	基本設計を担当します教育施設研究所、私が総括の飯田でございます。よろしくお願ひいたします。
教育施設研究所	意匠主任の高松です。
教育施設研究所	意匠担当の伊藤と申します。お願ひいたします。
教育施設研究所	皆さんの思いの詰まった学校ができるように私どもも努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
会長	ありがとうございました。それでは、今ご紹介いただいたのですけれども、教育施設研究所の皆様の方から新校舎の配置計画案についてのご説明をお願いできればと思ひますが、よろしいでしょうか。お願ひいたします。
教育施設研究所	<p>プロジェクターを用意させていただきましたが、ちょっと字が小さいところもございますので、お手元の資料を見ていただきながらご説明していきたいと思ひます。</p> <p>先ほど工程のご説明がございました。それを少し詳細に書いたものが資料2になりますが、基本設計を年内に行つてまいります。その後、引き続き実施設計という詳細を決めていくような作業となつてまいります。そして、工事が23カ月、3月に引越しを見越した形で工程が計画されております。</p> <p>そして、配置計画、仮設校舎の有無で大きく、来年度以降の作業の内容が違つてまいります。</p> <p>例えば、仮設校舎がない場合は、平成28年に利用した後、冬場にプールを解体し、その後、工事に入っていきます。その工事が終了後、既存校舎を解体し、校庭整備に入るという、非常にシンプルな形です。仮設校舎を建設する場合の工程では、まず来年早々に仮設校舎の設計を行う必要があります。プレハブ業者によって構造が違ひますので、会社を設定し、設計し、申請をして建設する。仮設校舎を建設する位置には、プールがございますので、プールの解体を非常に早めに行ふ必要がある。ことし12月ぐらいからプールを解体することになり、解体後、仮設の着工ができる。仮設ができて、既存校舎を解体し、そしてこちらの工事に入るという。この工事の期間は同じ設定にしておりますので、前段が非常に早めに、改築校舎を計画するのと同じように、仮設校舎の内容をどうするかについて学校の先生方とつめるため、先生方にも負担が大きい作業がここに入つてまいります。新校舎建築後は、仮設校舎を解体して、そして、校庭整備を図る。最終的には、この絵では2カ月ほど早くなつておりますが、非</p>

常に前倒しのタイトな計画となっております。

建物の改築の概要でございますが、お手元の資料3の裏面をごらんください。敷地としましては、環七沿いから30メートルのところにラインが引かれております。環七側が「近隣商業地域」と言いまして、少し高い建物が建ち、30メートルから東に超えた部分は、「第二種中高層住居専用地域」となります。大きく違いますのは、環七側には日影の規制がございませんので、実際の影でご迷惑がかかるというのは当然あるのですけれども、先ほど申しましたように高層の建物が多少できて法的に問題はないというところです。東側は通常の規制値があるエリアというところが大きな違いだと思います。

それから、資料3の表面ですが、(2)の新施設の概要としまして、これまで教育委員会さんのほうで想定した内容をまとめております。小学校が普通教室20教室。それから、少人数教室等を取りまして、最大24学級を確保。それから、小学校の専用の特別教室をとる。それから、中学校になりますと、普通教室が9教室。それに学年1個の少人数教室を対応するような形でとって、最大12学級を計画されております。そしてまた、専用の特別教室を取ります。

そして、共用の特別教室もございます。家庭科室や図書室、あるいは多目的室、ランチスペースなどは共用として計画していく予定でございます。

また、運動施設としましては、小中それぞれの小アリーナ、大アリーナ。そして、中学校の武道場。さらに、プールは、敷地の形状からしますと、基本的には屋上設置になると思っております。そのプールにつきましても、小学校専用プール、中学校専用プールと2つつくるのか、今後共用でカリキュラム上、1つで済ませる方法があるのか等、そういった検討を平面計画で行っていくことになろうかと思っております。

裏面に戻りまして、敷地の概要としまして、近隣の方、地域の方にとっても非常に狭い道に接しております。学校東側は4メートルもない道路になっております。今回、ここにこれだけの建物をつくるということで、都に認定の申請をしながらやっていますが、いろいろな条件をこちらから提示する必要があります。そこで、避難施設としての利用もありますので、北側は最低でも安全条例の6メートルを敷地側にセットバックする必要が出てくるだろうと思っております。このように道路が拡幅していくという状況になろうかと思っております。

それから、平面の配置の計画に入ります前に、懇談会でまとめられてまいりました新しい学校づくりの基本的な考え方を踏まえまして、資料4に「全体的な考え方」として、6項目ほどまとめております。

まず、やはり既存の高円寺中学校と校庭面積はできるだけ同じぐらい確保するということ。

それから、グラウンドがそれでも狭くなるということで、屋上部にできるだけ安全な運動エリアを設置しようというのが2番目。

それから、外部を広くするためには、校舎はできるだけコンパクトにして、5、6階建てになるだろうということ。

それから、周辺に与える影響を十分に配慮し、あとは安全管理。職員が見守りやすいとか、そういったところでまた配置上配慮していく。

それから、中庭等を設けて、学校の生活環境として通風や採光などを十分確保した

施設としていくという、この6つのコンセプトを今後ご提示する平面等、配置等にまた反映させていきたいと考えております。

資料4の2枚目、A3のカラーの資料をごらんください。各案をそれぞれちよつとご説明してまいります。資料の左のほうにそれぞれの特徴ということで、視点を書いてございます。「学習・生活・交流」という視点で配置をどうやっていくかというところがございます。それから、周辺環境。そして工事関連がでございます。「学習・生活・交流」として、普通教室に関して、配置や採光、通風がどうとれるだろうか。その教室間は移動しやすいのかというところ。それから、校庭がどれだけ広くとれるか。また、アプローチはどういう形でとれるか。そして、屋上の活動エリアもどの程度の広さがとれるだろうか。先ほどお話ししましたように、仮設校舎があるかないかという視点でございます。それと、「周辺環境」として、日影とか圧迫感あるいは視線なんかをどう見るかという点。それから、工事に関しましては、工期とコスト。それから、実際の工事エリアの確保の問題。施工性というものをここにメリットとデメリットとして、比較対象できるものを取り上げさせていただきました。

まず、今回、限られた敷地の中で、東西南北を主体として建物を配置してみた、4つの方法を提示してございます。

それでは、A案は、南側配置です。これは仮設がございません。プールを解体した後、こちらで建設して、既存はこのまま残るという利点がございます。この場合、普通教室は3つの方角にとれる計画になると思われ、さらに、中庭も十分確保でき、通風等は問題ないと考えております。また、次の視点である教室間の移動につきましても、非常にコンパクトでございますので、回遊性もあり、運営上は非常にやりやすい計画となると考えております。校庭が、既存面積が現状では5,300㎡程とれておりますが、A案は、この4案では一番大きくとれており、4,800㎡を確保しております。ただ、当然、南側に校舎を配置しておりますので、校庭に日影が落ちるといった課題がございまして、今後、校庭の舗装の内容、仕様等を検討していく必要があるかと思っております。それから、比較的整形ですので、現状と同様に150mトラックがとれております。野球場等も比較的レイアウトがしやすい配置となっております。

アプローチは、西側の新しく工事用に開設します門、あるいは、今正門と言われているところからのアプローチになると考えております。屋上の活動エリアは、他の案とほぼ同じ、900㎡から1,000㎡ぐらいになっておりますが、大きく違うのは、この案だけプールが2つ、小中という形で分かれて計画してございます。それから、仮設校舎を建てないものですから、その分のコストや工期の負担が少ない。校庭に関しては、何らかの対応をしなければいけないのですが、生徒さんは、これまで同様の学校運営をしていただくと。ただし、工事期間中の心理的な負担は、仮設校舎の有無に関わらず発生すると考えております。工事エリアも、やはりこれが一番とれますので、工事もしやすい計画だと考えております。

B案は、東案ということで、東を中心に置いてみて、当然、南も使っておりますが、教室はほぼ東と西で縦に2つ並ぶだろうと想定をしております。これも非常にコンパクトでございますが、先ほどの案に比べますと、少し移動の線が長い。移動が長いというのは、学校の運営の中でやはり授業の移動、中学校などは特に多いので、移動を短く、回遊性を持ったりしているほうが、授業混雑、廊下の混雑とかいう意味で、対

処しやすいと考えております。移動動線の中に、先ほどからありましたラウンジであるとか、そういったものも確保していくような形で考えております。校庭としましては、少し減っておりまして3,850㎡。ただ、南西側に少し別途スペースを設けていますので、合計すると、先ほどのA案とほぼ同じになりますが、トラックで言うと120mになります。それから、野球にとしてはちょっと狭いかなというところがございます。ただ、利点としては、南西側の部分が、小学校の低学年なんかの安全な庭として設けることができるかと考えております。

アプローチは、先程と同様に環七側からの利活用をメインとして考えております。また、東側にも新設して、こちらからも入れるという計画でございます。屋上は、プールを共用型の1つとして計画しました。屋上運動スペースを同等で1,000m近くを確保することを前提としております。それから、校舎案がぎりぎり既存校舎の部分まで伸びておりますが、これも仮設校舎を建てない案でございます。そういった意味で、工期、コスト、また工事エリアに関しましては、A案とほぼ同じということでございます。

次にC案の北側案です。これもコンパクトに見えますが、非常に平面積が長くなっています。グラウンドが南にとれているということは非常によいのですが、面積としましては、3,600㎡ぐらいとなります。これは、日影の影響が非常に大きく、北側の校舎がどんどんセットバックする必要があるために、上部につくりにくく、建物が南に伸びてきてしまっています。教室の移動や配置としましては、これも特に問題はないだろうと考えています。アプローチも、この案でいきますと正面校舎南側、環七側からだとぐるりと回るようになっておりますので、少しアプローチが長いということが言えるかと思えます。それから、仮設校舎を点線部に建てる計画としておりますが、非常に棟間隔が狭い中でギリギリやっとならんでいるという状況で、解体時にも搬出などの課題が想定されます。仮設校舎におきましても、非常に制約を受けているという状況でございます。工期につきましても、全体工期からすると、仮設校舎も1つの建設という工期になりますので、長い工期になります。それから、この仮設校舎分が、コストの割高ということになろうかと思えます。工事も環七側からやる場合、非常に狭いエリアで工事をしますので、先ほどの23カ月の工期についても、余裕のないギリギリの工期ではなかろうかと考えております。

それから、D案。こちらは、西側に高い建物が建てられるという、先ほどの近隣商業の部分を利用した場合なのですが、普通教室は南と東でグラウンドに面した部分にと想定はしているのですが、特別教室に移る場合など、非常に動線が長いというのが課題になろうかと考えております。そして校庭につきましても、150メートルトラックではありますが、非常に細長い、ほかの競技等に適さない校庭になっています。これもやはり北側に校舎がありますので、校舎のセットバックが非常に影響しており、上に積んでいけないということがございます。そして、西側に面する部分が非常に長くなっておりますので、環境負荷であったり、視線であったりというところの配慮も必要になろうかと思えます。こちらでも仮設校舎を想定しておりますが、これは仮設の体育館を建てるスペースがないというところで、非常に運営としては困難な計画になろうかと考えております。

4つの計画につきましては、以上でございます。

	<p>それから、これは日影の図を資料4の4枚目にそれぞれ描いておりますが、あくまでも法的な日影の詳細になります。真ん中の列の日影等時間図が、いわゆるこのエリアの規制値でございますので、当然、その規制値にはみ出さない日影になるような建物をつくっておりますが、例えば、B案やC案ですと、長い影を東側に落としていくとか、北側に落としていくというのが、現状の影はこういうふう伸びていきますので、日影的にもこの北側案というのは、地域の方々への負担が大きいというイメージがしております。ただ、日影につきましては、冬至、12月の日影を表しておりますので、当然、夏至とか春・秋分時になりますと、影は本当に少なくなります。一番長いときのもので、一番下の列ですが、A、B案のこれは東西軸ですので、右側が東。このような日影のラインの規制値がかかってきてセットバックをしているという形です。C、D案は南北軸で、右が北側なのですが、このようにセットバックしている理由は、やはり日影の規制がこの辺で厳しくなっているというところで、積層ができなくなっております。</p> <p>簡単ではございますが、配置計画の説明をさせていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、先ほどにもありましたが、皆様のご意見次第になってくるものと思います。配置計画につきましては、きょう決定ということではなくて、またこの後も次回も含めて考えていきたいと思いますが、ここで暮らす子どもたちの交流や、安全性を考えながら、また、地域の皆さんとの関係性も考えながら、中身のほうの計画、平面計画に力を注いでいかなければならないとも考えております。今説明をいただいて、どの案がいいということではないとは思いますが、初めて伺った話なので、委員の皆様方からご質問その他あるのではないかなと思っておりますが、いかがでございましょうか。</p>
委員	<p>このA案なのですけれども、プール2つというのは、25メートルプールが2つですか。</p>
教育施設研究所	<p>6コースです。</p>
会長	<p>25メートルの6コースのプールが2つになるということですね。</p> <p>その他、もうざっくりばらんに聞いていきましょう。</p>
委員	<p>限られた土地の中で、これだけの案を出していただいたと思うと、大変だったのだなと思うのですけれども、1つ聞きたいのは、建蔽率とか容積率に関しては、これが大体マックスで建てられていますか。まだ余裕があるのですか。それが1点。</p> <p>プールを壊してしまったときに、その後は児童たちはプールを利用できなくなるので、その代替はどうなるのかなというのが1つ。</p> <p>あと、あれこれ聞いてしまうとあれなのですけれども、仮設校舎を建設した場合ですと、今うちの子1年生でいるのですけれども、平成28年、29年と非常に子どもに対しての圧迫感というのが強いように思えるのです。だから、工期なども考えたときに、非常にタイトで、この間の子どもの対してのゆとりがなくなってしまうのかなと非常に懸念しているところございまして、そこら辺も配慮すべきかと思っております。</p> <p>あと、例えば、南側に校舎を持ってきた場合のことなのですけれども、これは運営上の問題になってくるとは思うのですけれども、北側の住民の方にも影響が多いと思</p>

	<p>います。私もいろいろ経験があるのですがけれども、せっかくいいものをつくって校庭を北側に持っていき、学校運営始まりますというときに、要望が来てしまって、子どもたちがさらにまた小さい声で運動をしなければいけないとなってしまうのは、非常に危惧するところです。その辺は地域とのバランス、周りとのバランスなどを踏まえて、北側に校庭を持ってくると、それはあくまで私個人としての意見なのですがけれども、それが1つ懸念材料としてあるかなというのをちょっと出させてもらいました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では、まず最初のお話ですが、建蔽率、容積率についてはいかがでしょうか。</p>
教育施設研究所	<p>数的には余裕がございます。教育委員会でつくられてきている総延べ数として約 16,000 m²を想定されておりますが、プラン上、廊下が長くなったり、階段がずれたりとかいうのはあるかもしれませんが、どの案になっても、それが極端に突出するようなことはないと考えております。</p>
委員	<p>逆に容積率、建蔽率やコスト面とか含めて、余り抑え過ぎてしまうと、いいものができないのかなというのが1つ。</p> <p>あと、近商と中高層で違うのですがけれども、これは私ちょっと建築のことよくわからないのですがけれども、またがった場合はどうなるのか、階数的な問題としてどうなのかなと思いました。</p>
教育施設研究所	<p>資料3の(1)の表に記載しておりますが、中高層は、敷地面積の2倍までの建物が建てられる、近商は4倍建てられるという数字になっています。</p>
学校整備担当部長	<p>延べ面積なのですが、配置計画が終わったら平面計画なのですがけれども、例えば、お子さんたちの面積を広くとりたい、オープンスペースをたくさんとりたいと、だんだん大きくなるのです。大きくなると、校庭が狭くなる。校庭も小中一貫教育校ですから、ある程度面積が必要になります。校庭の面積と、校舎の上から見た屋根の面積のバランスというのが大事だと思っています。今回、この点数で評価するところの「校庭の日影・広さ・レイアウト」のウエイトが大分大きいかなと考えます。それは、普通教室のお子さん方の窓からの日差しの問題と同じぐらい大切かなと思っています。校庭の広さと校舎の広さのバランスというのを、この平面計画の中で見ていただきたいというのが1つあります。</p> <p>それから、仮設の対応ですが、これまで多くの全面改築をやってきましたけれども、原則的には敷地の中に仮設のプレハブをつくって、そこで2年ぐらい、お子さんが生活しています。しかし、A案については、北側の校舎は既存をそのまま使えますから、学校の先生方も、お子さんも、本当に負担なくそのままの環境でできます。あと、音の問題だと思います。音の問題は、仮囲いをつけて、今いいのがありますから、工事部門に遮音壁をきちんとしていけば、あと、ここの距離がとれればいいですね。さらに、この学校は冷暖房完備の学校ですので、多少違うかなと思います。D案は、仮設はできるのですがけれども、工事場所と仮設の距離が短い。絶対に振動と音が校舎に響かないかといったら、正直に言って多少響くと思います。さらに、体育館を設けるスペースがないので課題は多いです。C案についても仮設と工事の距離が短く、課題はあります。</p> <p>それから、プールなのですがけれども、解体しなくてはならないので、2～3年間、近隣の学校のプールを借りさせていただき、学校同士の打ち合わせの中でカリキュラ</p>

	<p>ムの編成を変えて、お互いにどう使い分けられるかというお話をこれからしていきます。あと、移動手段や往復の時間を踏まえてどう利用するかというのは、ソフトの問題ですので、それはこれから学校側と教育委員会のほうで打ち合わせしていきたいなと思います。</p> <p>それから、南側の配置になって、北側のご近所に迷惑をかけるのかなという話なのですが、正直言って今、学校の改築は周辺の皆様にとってはどう建てても迷惑施設だという位置づけが多うございます。それは、お子さんの声が高いという迷惑もありますし、建物がこれだけ高いものが建ちますから、今まで校庭だったところに建物が建ちます。今まで空が見えていたものが見えなくなるという方が必ず出ますので、両方だと思います。音の問題がうるさいという方もいれば、自分の家の前に建物が建ってしまうのが嫌だというのは両方いますので、これから配置計画等が決まって、ご近所の皆様にご説明して、どういう反応があるかというのはこれからだと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございました。では、そうしますと、懇談会で練ったものが、周りからすごい反対を食らってしまったら、また練り直しということになってしまうことも考えられるんですね。</p>
学校整備担当部長	<p>ここは懇談会の席ですから、自分たちで学校をどうつくるかの意見を出し合う場です。これから設計に入ります。設計に入ると、杉並区の条例とか建築基準法の日影紛争の問題で、法令に基づく近隣住民への説明会というのを必ずやらなくては行けない。2段階ありまして、計画がまだ修正できる段階。それから、確認申請といって具体的に工事を進める確認申請を東京都へ出す段階があります。多分、1段目は杉並区のまちづくり条例で、計画が修正可能な段階で近隣説明会をやりますから、そのときにご近所からどういうご意見が出てくるかだと思います。そこで本当に「こんな計画は許せない」とか、「規模を縮小しなければいけないか」という話になれば、ご近所の皆さんと協議をしなくては行けないかもしれません。まだわからないです。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
会長	<p>一応そういう段取りを踏むということにこれからなろうかと思います。</p> <p>今、東西南北の4つの配置をプランニングしていただいたと思うのですが、ほかに何かご質問ありますか。</p>
委員	<p>これら一応4つの案を提示されたということは、これはどれでも進めることが可能ということだと思うのですが、これをいろいろ考えていく中で、A、B案が仮設なしです。C、Dに関しては仮設あり。これ、仮設の費用というのは相当かかりますよね。恐らく億単位でかかっていく。それらも加味して考えたときに、A、Bのほうがそういったものをひっくるめてよしと考えたときに、その費用は乗っけていただけるのですか。そこは大きなところなのです、かなり。</p>
学校整備担当部長	<p>それは普通ないと思います。仮設費として要らなくなった3億円分を足して何か付加価値をとというのは、ちょっと難しいかと思います。</p>
委員	<p>でも、それは相対的に考えて、予算づけされていくと思うんです。以前の準備会の中では仮設ということで、多分、委員会からも出ていたと思います。それらから考えても、この仮設は非常に大変だというような部分もあるのですが、そういったものはトータル的に見た中で、我々は判断していかなければいけないかなと思います。</p>

学校整備担当 部長	<p>そこでお約束したいのが、杉並和泉学園を見ていただくとわかりますけれども、劣悪な、どうでもいいような学校づくりというのは杉並区はしていません。すごくきれいにつくりますし、学校だからと工事費を安くするつくり方はしていません。ほかの区立施設と同等の平米単価、工事費でつくりますから、最近の学校のつくりは非常によいと思っています。だから、今おっしゃるみたいに、昔の学校のように何も無い学校をつくるわけではございません。特段そこに何億円もまた足して付加価値をしないと耐えられないような建築というのは設計しませんので、そこは大丈夫だと思っています。</p>
委員	<p>例えば、床面積を増やすとか、地域コミュニティーとか、そういったような要望も多分出てくると思います。恐らくこの延べ床で言うと、少し足りないかなと正直思っています。特別教室等に関しても。そういったものが付加されるのであれば、これは判断材料にもなってくると思います。</p>
学校整備担当 部長	<p>特別教室をどのくらい拡充するかとか、近隣の皆さんの部屋をどこまで用意するかというのは、基本設計の中で全部入れ込まないといけません。後で付加価値はつけられませんので、この懇談会や学校の先生方との打合せの中でどこまで高めるか、どの面積を増やすかというのを含めて、基本設計で決めていきたいです。</p>
委員	<p>ということは、まだ増やせる余地もあるということですね。</p>
学校整備担当 部長	<p>まだ平面計画をやっている中で、皆さんの意見と区の考え方が合えば、検討の余地はあるかと思っています。</p>
学校整備課長	<p>きょう初めて資料をお渡ししています。これから、いろいろなメリット、デメリットを比較していきます。AにしてもBにしてもCにしても、この位置にこのまま建てるわけではありません。ここでご意見をいただいて、建築の専門家の営繕課や設計事務所がいますから、今、委員がおっしゃったように、やっぱり床面積が足りないのかなとなったときには、また議論していくことですので大丈夫とお考えいただきたいというのと、それから、仮設の話がありました。一般的に仮設校舎をグラウンドに建てるという建築計画の工事が多いです。仮設校舎と言っても、性能が非常にいいです。耐震性はもちろんありますし、使い勝手もいい。古い学校からそちらに移ると、そちらのほうがよかったと言う教職員や生徒さんがいたりもします。仮設校舎の2年間のリースに3億円かかります。では、仮設校舎のリース費用が必要ない場合、3億円を工事費に乗せるかという話には、イコールにはならないです。</p> <p>私が言いたかったのは前段の部分なので、ここで皆さんと意見交換させていただいて進めていきたいという趣旨で、ご理解いただきたいと思います。</p>
会長	<p>中身については、またこの後の議論になってこようというところなので、きょうは配置に関してということで、ご意見頂戴できるとありがたいです。</p>
委員	<p>前提として地下を掘るとするのは、コスト面とか、環境的にとか、絶対にここでは無理なのだという理由とかがあるのですか。</p>
学校整備担当 部長	<p>技術的には無理はないです。ただ、地下を掘ることは、地上をつくるよりも、土を掘って出して、地下を、水をとめて躯体をつくって、また戻す。非常にお金が高いです。地上部に比べて3割から4割増しのお金がかかります。それが1つ。2つ目は、地下をつくと掘って埋める工事期間。先ほどの工事が23カ月かかっていますけれども、地下をつくれればそれが長くなりますから、学校が竣工する時期が遅れる可能性</p>

	<p>があるという影響の2つがあります。現時点では地下はつくらない方向で、さっきの部屋の数を仮に東西南北の配置してみたらどれくらいのボリュームになるかという配置計画を、パイロットプランとして設計事務所からお示したということです。</p>
委員	<p>工期が延びてしまうというのはやっぱり問題だなと思います。でも、先ほどの、もし仮設をつくらずに多少お金に余裕が出てくるのだったら、でも、3億円ではつukれないという話かもしれませんが、地下というのは全く考えになかったのかなと。</p>
学校整備担当部長	<p>今この時点で地下が絶対にはないとは言えません。これから皆さんが議論していく中で、工期に影響があってもスペースが欲しいのだという意見がたくさん出れば、お金の見合いだと思うのですけれども、それは検討することはできるかなと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>体育館のような2階層を落とすとか、1階層分だけ落とすとか、その大きさによっては開校、平成31年に間に合わせることは一応想定はできてはいます。今地下ありきで話を進めるのではなく、あくまでも平面計画を考えていく上で、本当に床面積がこれで足りない、もっと必要だという話になったときの選択肢というところでお考えいただいたほうがよろしいかなとは思っております。</p>
委員	<p>例えば6階を考えているのを5階にした場合には、日影の形も変わってくるしとか、そういうことも全て変わってきてしまいます。</p>
学校整備担当部長	<p>誤解しないでください。この4案はまだ完全な計画でも何でもなくて、議論の入り口ですから、まだ形も変わるだろうし、高さも変わるし、規模も変わるということは前提のもとで、大筋の配置だとか校庭とか通風とか周辺環境とか、その辺の議論の最初の入り口論としていただきたいなと思います。</p>
委員	<p>今お話を聞いて、まだ確定ではないことなので、これから上物だけではなくて、下も考えられるということと、中身について、これが欲しいとか、例えばプールを地下に持って行ってほかのものを増やすとか、いろいろまだ考えられるということがわかりました。</p>
委員	<p>地下が掘れないというのは、環七に地下道というか、地下水か何か、大水のときに流れるやつがつくってあるからではないですか。あれの関係で地下ができないのかなと思ったのですけれども。</p>
学校整備担当部長	<p>そのようなことはないです。</p>
委員	<p>そうですか。わかりました。</p>
委員	<p>A案にはプールが屋上に2個あるのですけれども、これは学校と設計の話になると思いますが、素人的に考えると、プールは2つも必要あるのかなと。水道代がもたないという感じがすることが1つ。</p> <p>プールを屋上に持っていくことで、非常に重たいので、強度はすごく増しますよね。それに対してのコストアップというのがあるのだったら、逆にプールを地下に持っていくとか、そういう案もあるかなと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>1つは小学生と中学生の授業のこま数です。2つ目はプールの深さです。一つだと、やはり中学生のプールは深いですから、小学校が使うときを考えて、自動で床が昇降する装置をつけます。授業と授業の合間にそういう機械を動かしたりするので、小中</p>

	<p>授業の調整が出てきます。学級数によっては若干プールの期間を早く始めて、終わりも少し長くする必要はでてくるかもしれません。こま数が確保できない可能性から、二つつくるところもあります。</p> <p>2番目のプールを屋内につければいいかという話なのですが、プールも1年中使うわけではございません。基本的には夏の2カ月間ですので、ほかの期間は閉鎖した空間にするのはもったいないものですから、杉並区としては今プールは原則屋上につくっています。</p> <p>プールは確かに水で重いです。工事費はかさみます。柱を太くしなくてはいけないのですけれども、ただ、その割増しの工事費を含めて地下にプールをつくって、10カ月間使わないスペースをつくるよりも、多少割増しますけれども、工事費を上げてでも屋上にプールをつくったほうが費用対効果、全体の費用から見ると、そのほうが効率的かと思っています。</p>
委員	<p>渋谷で一つだったではないですか。それで和泉が二つあった。教育的にはわからないので、もちろん二つ必要だということであれば、別に異論を挟むつもりは全くないですが、渋谷は現に一つでやっています。確かに昇降機でその分コストがかかるのかなとは思うのですけれども、そこは学校と教育上のバランスになるかなと思います。が、何となく素人的に考えていってしまうと、何か2個あるのはもったいないかなと思いました。</p>
学校整備担当部長	<p>それは先生方にも検討していただいております。</p>
会長	<p>そうですね。小学校の水泳の授業、中学校の水泳の授業で、それぞれの学校にも聞いてもらったのですけれども、小学校が20学級、中学校が全学年3学級になると、こま数は結構厳しくはなってくるとは思います。ですので、そのときに、3校とも今だと外のプールなので、ある程度の期間が決まっていますよね。気温と水温を足して50度にならないと泳がせませんので、その間に全部はまるかといったら、厳しいだろうというのはうちの体育の意見でした。ですので、そうしたときにどうするかというのは、この後また考えていくことになろうと思うのですけれども、二つかまたは一つの議論と合わせて、ある程度もう少し期間が使えるようなプールが必要だろうと、先生方から聞いたところです。</p>
委員	<p>それは屋根つきですか。</p>
会長	<p>屋内というか、やっぱり屋根があつたり、若干温かいとか。</p>
委員	<p>そうですね。通年で使えて水泳部なんかできたりすると、格好いいかなという感じはします。</p>
委員	<p>屋内だと雨天中止がないのですよ。だから、杉十小では、予定どおりプールの指導ができるという点でメリットがあります。現場サイドとしては、それは屋内のほうがいいだろうというはあるのですけれども、やっぱり小1と中3が一緒のプールを使うというのは、難しいところがあるのではと心配しております。2つないと回らないのではという意見があります。</p>
委員	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>どの案に関しても、グラウンドは別として、この敷地内で全ての教育施設は終結し</p>

	<p>ていると考えていいのかどうか。</p> <p>あともう1つ、これは学校側になると思うのですけれども、今お話があったように、では、校庭がこれで最終的にいけるのかどうかという判断と、あと、これは建築期間中の小中一貫教育に関してなののですけれども、仮設であっても既存校舎を使ったとしても、今、金曜日、杉四小が行き来していますよね。それはもう全く変わりなく継続なのかどうか。そちらのほうをちょっとお聞かせいただきたい。というのは、仮設をつくったときに、何かそれ用につくらなければいけないかということ、ちょっと疑問があります。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>杉四小と高円寺中との連携が続けられるかということになりますが、もちろん工事の安全面は確保して、保護者のご意見も伺ってということになるのですが、既存の校舎であれば、もちろん続けることは可能です。</p> <p>しかしながら、この資料の点線で入っている仮設の設置案に関しましては、高円寺中の1つの学校がギリギリ入るぐらいでしかとれていない状況です。杉四小の5、6年生が金曜日に来ていますけれども、そのために高円寺中ではそういった教室を設けていますけれども、仮設には余裕がございませんので、また違った形での連携を取り組まなければならない前提ではあります。</p>
教育施設研究所	<p>補足でございますが、ただいまのD案につきましては、仮設時には体育館をつくる土地がないということで、体育館はない授業運営になります。ですから、ソフトとしてどこか近い体育館に授業に行かなくてははいけません。</p>
会長	<p>Dについては体育館がない、Cはあるということでしょうか。</p>
教育施設研究所	<p>Cはギリギリとれます。</p>
会長	<p>ギリギリあると。わかりました。</p>
委員	<p>CにしてもDにしても、小学生が来る教室は設置できないと。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>仮設にはないということです。</p> <p>先ほど最初にご質問があったものですが、教育施設は全て入っています。</p>
学校整備課長	<p>A、B、C、Dについて、教育施設が全てここに入るという考えです。</p>
会長	<p>今のところ、本体の中には教育施設に関しては、全て入れ込んでいる。ただ、仮設になった場合、今やっている小中連携が難しいということでもよろしいですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>現状の連携のやり方は少し厳しいと考えています。</p>
委員	<p>単純な質問なののですけれども、校庭が北側にある学校というのは、私はあまり見たことがないのでけれども、最近はそのようなことは多いのか。逆に、我々からすると、今、日照の資料を見ると、冬場は校庭の半分は日影になってしまう。そうすると、人工芝にできれば別に問題ないのだけれども、ではなくて、今までどおりのグラウンドだとか、天然芝だと、冬場は校庭の半分が使えないよという状態になってしまう。そういうことも当然考えられるので、そういう基本的なところを、やっぱり用意しておかなければならないのかなと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>北側に校庭を配置している学校はあります。近々やったのは方南小学校。やはりご指摘のとおり、校庭に建物の日影が来ると、冬場、霜が解けなかったり、雪が降った</p>

	<p>のがなかなか解けないことがありますので、方南小の場合は、校舎の屋根を少し斜めにして、南の光が入るようにしました。もう1つは、方南小は東に体育館を建てたものですから、南の光しか入らないのです。今回のA案では東から光が入ります。小学校、中学校の校庭も校舎も、午前中の光が大切です。南側に校舎が建ったとしても、校舎の日影と東側の日差しをどうやるかの工夫についてはこれから詰めなければいけないと思います。わかりやすいのが、この日影図です。これは近隣商業地域部分がなく、法律上でしか書いていないのですけれども、例えば、A案を見ると、朝の8時ぐらい、赤線で途中まで東から太陽が上がったときに影が上がっていくのです。これがだんだん少なくなっていく話なのですけれども、要は、西側に向かって三角形に日影が出ますから、この辺の日影をどう少なくするかというのがこれからの検討だと思っています。例えば、東側の校舎の高さを少し、校庭側の高さを削っていけば、校庭に対する朝日だとか、お昼までの影は薄くなっていく可能性もありますから、そういうところもこれから設計事務所と一緒に考えていかなければいけないかなと思います。</p> <p>まだそういう細かなところというのは、この図面の中には反映できていませんから、これからそういうものは詰めていく段階だと思います。</p>
委員	<p>確かに工夫することによって軽減できる余地はあります。ただ、これを見ていくと出入り口のところが完全に日影になって、例えばの話、ここがいつもぐちゃぐちゃだよと。毎日毎日解けては凍り、解けては凍りしてしまうので、ぐちゃぐちゃになってしまいますよね。だから、その辺の動線も見直さなければいけないのかなと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>きょうの資料の中にも「校庭の路盤仕様の配慮が必要」と記載してあります。路盤仕様の配慮というのは、これから設計の中で決めなければいけないのですけれども、例えば、人工芝だとか、霜が解けやすい構造にするとか、何かやり方はあるかなと思います。それも、これからの検討材料だと思います。</p>
会長	<p>ぜひ検討していただければと思います。うちの体育の先生も同じことを言っていました。</p> <p>配置について、きょう出たご意見を伺って、また修正なりしていただくような形になるうかと思うので、ざっくばらんにもう少し出していただけるとありがたいです。</p>
委員	<p>先ほど、例えば、地下にプールを持っていった場合には、使えない期間があるから無駄になるというお話ありましたが、今回のこの新しい学校というのは、やっぱり地域の方にも利用していただきたいというようなお話もあるので、杉十小のように、使わない時期には地域の方にも開放するというような形で利用するとか、そういうことも考えられるのではないかなと思うのですけれども。</p>
学校整備担当部長	<p>2つありまして、まず、プールの大きさというのは非常に大きいです。下にもっていくとすると、その面積がとられますから、その分、教室などの子どもたちの面積は減るわけです。そのために、建物、容積を大きくすることは校庭が狭くなってしまいますから、限度があります。下にプールの部屋をつくるということは、どこかを削らなくてはいけなくなりますから、それはどうするのか検討が必要です。</p> <p>では、地下を掘ればいいではないかという話になりますから、地下を掘ると工事費の関係でどうなるのかという話と工期の問題が出てきます。</p>
委員	<p>プール以外にも、例えば、体育館的なものを地下に入れるとなると、さらに深く掘</p>

	<p>らなくてはならなくなるという。プールだけだったら、まだ浅く済むということですか。</p>
学校整備担当部長	<p>プールをつくること自体でも、天井の高さがある程度必要ですから、その分はほかの部屋を削らないと、プールの部屋の面積が確保できません。諸室を減らさないためには地下につくらなくてはいけなくなりますから、今度は、地下につくるとなると、工期とお金がかかるというのが1点目。</p> <p>それから2点目は、今おっしゃるとおり、学校以外使っていない10カ月間ですね。区民開放のプールをつくってもいいではないかというお話があるのですが、通年のプールをつくるという話は、区内の中で、地域の数のバランスをきちんと考えていかないと、不平等になります。高円寺地域ではすでに杉十小に温水プールがあるわけですから、ほかの地域とのバランスを考えると、区の中で大なたと言いますか、判断しないとつくれる可能性は少ないとは思っています。</p>
会長	<p>なるほど、わかりました。ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>グラウンドについても各小学校・中学校の先生方に聞いたのですけれども、やはりできるだけ広くってほしい、運動会もやらなくてはいけない、というような意見が出ております。できるだけ直線で50メートルは走らせたいとか、トラックはせめて150メートルないと運動会はきついか、教員から意見としては出ているところでございます。</p>
委員	<p>A案の西側、今、「屋上プールエリア(中)」なっているところなのですが、ここは目いっぱい何階まで建てられますか？</p>
教育施設研究所	<p>当然、6階は建つエリアとして計画できます。児童・生徒をどこまで上に上げるかというところが課題となりまして、エレベーターを使うなど、今は4、5層に中学生がいる想定ですが、その高さが移動エリアとしては限界だろうというところで計画してあります。</p>
委員	<p>建てようと思えば、8階でも9階でも建つわけですよ、ここは。</p>
教育施設研究所	<p>やはり移動が大変になります。</p>
委員	<p>言ってしまうと、6、7、8階ぐらいつくって、エレベーターを設置するなどして別の動線にして、やろうと思えばできるわけですよ。</p>
会長	<p>いかがでしょう。「こんなのはできないか」というのでも構わないと思いますけれども。</p>
委員	<p>これはまだ決定ではないのであれなのですが、吹き抜けは大体この案だとどのくらいの広さなのですか。</p>
教育施設研究所	<p>A案は24メートルの18メートルぐらい。</p>
学校整備担当部長	<p>皆さんに意見をいただきたいことがありまして、それはCとD案です。悩ましいのが、校庭の面積が非常に狭くなったのと、D案についてはプレハブの体育館が建たない。それからC案については非常に狭いプレハブになっている。これは、北側斜線という規制があって、建物をセットバックして緩やかな校舎にすると、建物がどんどん南側に大きくなった結果です。CとDの校庭とプレハブについての、皆さんのご感想</p>

	<p>というか、意見をお聞きしたいなというのが本音のところでは。</p>
会長	<p>いかがでしょう。CとDについて、ちょっと絞って伺いたいと思います。</p>
委員	<p>校庭ですけれども、野球とかの公式戦とかができる大きさですか。杉八小の広さだと正式な試合としては認められないみたいに。特に中学校になると、さらに広さが必要なかと思ったのですが。</p>
教育施設研究所	<p>そうですね。公式戦としての広さはないと思います。ただ、練習試合をやるに当たっては、A案のような形状のほうがつくりやすいという。例えば、野球場も天井にネットを張ったりして、先にボールを落とすとか、いろいろな工夫をして、有名校であってもそういう高校もごさいますし、通常の試合はそのグラウンドでのローカルルールをつくって試合をしているかだと思います。</p>
委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、C、Dについてということで、ご意見お願いできますでしょうか。CとDについては積極的に賛成という感じが伝わってこないのですが、委員の皆さん方のイメージとしてはそんなところではございませんでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>なぜかと言いますと、先ほど意見がありましたとおり、北側に校庭をとるか、南側に校庭をとるかが大きな試金石になります。これをきちんと整理しておかないと、後で皆さんの意見がぶれてくると思います。校庭は狭いのだけでも、日が当たる校庭がいい、広いけれども、若干、日影があってもしょうがない、ときちんと整理しておかなくてははいけないと思います。</p>
会長	<p>おっしゃるとおりです。うちの体育科にはこれを最初に聞きました。やはり広いほうが絶対によい。ただし、影になって冬に使えないのは困る。何とかしてほしい。これが体育科の意見です。ですので、今、ここのグラウンドは非常に水はけがよくて雨が降った後、次もう体育の授業は全然問題ないのですが、北側ではなり得ないということは思います。ただ、どういうふうにしてそれを乗り越えていくか次第で十分可能な範囲かなという感じがします。先生方としては、そういう工夫をした上で広くってほしいというのが、一番の意見として伺っています。委員の皆さん方はいかがでございますでしょうか。</p>
委員	<p>今、ここ高円寺中ほどのぐらいの広さがあるのですか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>資料に「既存校舎」というのがA案の左隣にあるのですが、そちらに有効、実際使っている校庭としては約5,300㎡になります。</p>
委員	<p>トラックは150メートルでA案と一緒にですね。</p>
会長	<p>Aの面積だとどのくらいになりますか。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>A案は、4,800㎡になります。</p>
会長	<p>4,800㎡。若干狭いものの、ほぼ同じくらいというイメージですね。</p>
委員	<p>どれもこれも全て一長一短で、非常に悩ましい問題かなと思います。ただ、日当たりの問題もあるのですが、C案とかD案になると、セットバックと言う部分で無駄というか、どうしても使用できない部分が出てきてしまうという面で行くと、南側に校舎を持ってくると一番広くなるというのはやむを得ないと思います。北側の</p>

	住民の方々は別として、私的にはやはり南側のほうがいいのかなという意見でございます。
委員	今プールが二つついているところはA案しかないのですけれども、もし最悪、小学校・中学校の先生方が、「やっぱり二つないと」となったときに、C案、D案でも二つつくことは可能なのですか。
教育施設研究所	今、校庭、屋外の運動スペースの面積をほぼ同じにしている条件でやっております。どの案もプールが二つという案もできますが、ただ、屋上運動スペースが減るといようなイメージで捉えていただきたいと思います。
学校整備担当部長	プールをつくと屋上の遊び場がなくなる。
委員	突拍子もない考えかもしれないですけども、例えば、小田急線の成城学園の車両基地などは、車両基地の上を全部屋根でふさいでしまって、そこを畑か何かにして区民に貸し出しているようです。敷地の大部分を校庭にできる案として、校庭を2階に持って行ってしまって、その下を部屋のスペースにするということもあるのかなと思ったのですが、そういうことは可能なのですか。
学校整備担当部長	正直に言って難しいかなと思います。お子さんがいる諸室の室内環境を考えていった場合には、やはり直接、外に面する部屋をたくさんつくっていく必要がありますし、光が入ってくる校舎づくりというのは、学校にとっては重要かと思います。
委員	わかりました。
委員	これまで2年かけて検討してきましたが、ここに小中一貫校をつくる、新しい学校をつくりましょうよという話でスタートしています。そのときには、こういう制約というのはほとんど出てきていなくて、ここにつくりましょう、敷地としては高円寺中学校の敷地が一番適格ということでスタートしてきて、ここまで来てから、今度は、ここでやるためにはどうしてもこうなくてはだめだというような制約がいろいろ出てきている。これまで積み上げてきた中には、例えば、杉四小をどうやって使うという話もあったわけです。その話が、今どこにもないのですけれども、逆にこのうちの施設の何かを杉四小に持っていくことによって、もっと余裕をもっているところをつくることができるというのであれば、それも検討の中に入れていいのかなと思うのですが、それはいかがでしょうか。
教育施設計画推進担当係長	これまでの懇談会での意見の中でも、元々新しい学校づくり計画としても、基本的には高円寺中校地で全て教育環境はおさめるというように進めております。もちろん、余裕を持たせるために杉四小を活用すればというご提案はあるかと思いますが、そこではなくて、先ほど話があるような地下だとか、そういったところでおさめていって余裕をどう持たせるかというところを考えていただいたほうがいいのかと考えております。
委員	その中で、例えば、今、グラウンドをどうしても北側に持っていかないと。それには、日照の問題があるとなってしまいます。我々がこれからの子どもたちを見るときに、やっぱり広いところで十分に運動させてあげたい、それが一番だというのは、もうスタートからずっと出ていることですから、どうしても北側に持っていかなくてはいけない。先ほどの体育の先生方のご意見を聞いても、北側に持っていくのは課題がある。南側に持っていくとどうしても小さくなってしまいます。そうであると、もうち

	よっと何か考えられないのという気はしますよね。
学校整備担当 部長	<p>正直、小中一貫教育校をつくるわけですから、この校地で学校のお子様方の機能は完結するというのが最初の目標だと思っています。これから設計まで入っていく中で、実際に部活とかクラブだとか、学校以外の授業や地域のつながりの授業だとかあると思うので、本来の学校でないところのスペースをほかへ移せば、学校本来の機能が保てるのだということであれば、やはりそういうことは検討できるかと思います。</p> <p>今回お見せした校庭面積、高さや日影についても、まだまだこれから課題についてどう対応できるかというのを設計事務所と十分検討していく中で、まだまだ皆さんにご提案できる機会はありますから、それについてはもう少し先に議論してもいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>杉四小の校庭は第二グラウンドとして使いましょうというお話があったと思います。そうすると、いかに使いやすく子どもたちが利用できるかということが問題になってくると思うので、そうした場合には、やっぱり橋をかけてもらうとか、そういうことも考えていただけるといいかなと思います。</p>
学校整備担当 部長	<p>今言えるのは、懇談会である程度の結論が出るまでは、杉四小の校庭をほかの用途に使ってしまうということは、区としてはしないです。この懇談会の成り行きを見ながら、杉四小の活用策も視野に入れながら、跡地活用検討を進めていきます。</p> <p>それから、環七に対するお子さん方の動線の安全性ですけれども、今まで土木を含めて環七の地下にトンネルが掘れないかとか、環七に歩道橋ができないかとか、絵まで描いて詰めてきました。正直に言って難しいのが本音です。本当は建物と建物がつながって行き来できるのを目指したかったし、一度は目指したのですけれども、非常に難しいというのが現実だと思っています。</p>
学校整備課長	<p>繰り返しですけれども、最初に決めたのが、ここの校地で小中一貫教育校を、新しい学校をつくりましょうということ。我々、これは皆さんも同じだと思いますが、ここの土地で、一つのかたまりの中で新しい学校をつかって、小学生と中学生が勉強して運動して、休み時間も遊んで、放課後もこうしてというのは、全てここでやるということで考えています。</p> <p>ただ、今後の議論の中では、委員がおっしゃったように、杉四小がせっかくあるのだから、使えるものなら使おうではないかという議論は出てくるかもしれないというのはあったかと思います。それは、放課後や部活についてどうするかという際に、使い勝手の問題として議論することかと思っています。その話を皆さんとしていく中で、皆さんが思い描いている方向にいければいいかなという気持ちでおります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。基本的には、これまでずっと我々が、ここで新しい学校をつくるというふうに考えていたところはそのまま通しておりますので、そこは大事にしながら、この後細かいところになればまた話は変わるかもしれませんが、現時点では、そう考えていければと思います。</p> <p>このC、Dについてどうするかというところは本日伺いたいと思います。</p>
委員	<p>よろしいですか。問題は仮設を使う場合、そこに該当する中学生、その年齢の子たちがどう感じるか。学校選択のときに、我慢しながらそこへ行くかということはどこかで触れておく必要があると思います。それが、1年なら我慢できるけれども、2年は嫌だよというような、どの程度の仮設なら我慢できる。そして、教育の成果も上が</p>

	<p>る状況となっているか。この辺の理解を保護者に向けてできないと、予定はあるけれども、よその中学校へ進学してしまいます。さらに、お兄ちゃんがあっちに行ったから、妹もそっちだよねと、隣接校へ行ってしまうわけです。本来なら来る子が来なくなるかもしれないのです。そういう要素がありますから、アンケートをとるわけにいきませんが、仮設暮らしということはどういうことかをお伝えしながら、現役の保護者がどのような感想をお持ちか、聞いてみてほしいなと思います。</p> <p>それから、北側にグラウンドが来るといことの意味のデメリットの要素はあるのですが、問題は、部活というのは体育館でしっかりできるもの。大きい体育館を2つ3つに分けて使用して可能な部活。運動系というのはグラウンドだけではないということを考えて、校舎内の体育施設を見据えた図面をこれから考えていく。そうすれば、グラウンドばかりに偏った体育施設という発想はしなくて済むと思います。屋内の子どもたちについても考える必要があります。演劇部もあれば音楽部もある。</p> <p>いろいろな部活があるわけですから、部活ということをとータルに考えて、グラウンドを尊重はしますけれども、ある程度の我慢を求める。納得していただけるグラウンド条件がどこなのかについては、現場の先生方のご意見をよく聞くことではないのかなと思います。そこで、例えば、細かい話ですけども、地下を掘るにしても、半地下を掘れば少し下がりますから、外の光を上半分から取り入れることができる。風も入るかもしれない。そういう発想だって、これからどんなものを入れていくかで可能だと思います。幾らかでも運び出す土が減るほうが、かえってうまい設計になる可能性はあるかなと素人考えでは思ってしまう。でも、専門の方はどうお考えになるのかなということです。</p> <p>いずれにせよC、D案に関しては、かなり評判の悪い案になるということは感じます。どうしてもAにいくだろうという気配は感じます。ただ、Aの持つデメリットという要素を自覚した上でC、Dを消したいと考えます。</p>
会長	おっしゃるとおりですね。ほかにはございますか。
委員	すみません、このD案の一番北側2階、3階というのは、ここはもう削らざるを得ないのですよね。
学校整備担当部長	こちらの日影図の資料の右側の一番下になろうかと思います。北側斜線という法規制があったり、あと日影規制の線があります。それをクリアしようとすると、建物を階段上につくらないと、法律に抵触する可能性があるということで、こういう青図のところは避けております。
委員	可能な限りそちら側に高いのが建てられれば、E案でそういうのを見てみたいなという思いがあったものですから。
学校整備担当部長	なかなか北側に学校のような壁の長い、本当に大きい建物を威圧的に建てるというのは、北側に対しては非常に難しいと考えます。
会長	ほかにはいかがでございましょうか。
委員	C、Dの案ではありませんが1つだけ、前にも何度も出てくる子小連携の話。この図面からするとそれが全然読み取れないのですが、子供園をこの中でどうするかという結論は何も出ていません。これだと多分杉四小に置いてしまうというプランだと思っておりますけれども、最終的にもう区としてそういう結論でよろしいですか。

教育施設計画推進担当係長	高円寺地域の新しい学校づくり計画上で、子供園に関しては杉四小に存置するという計画になっております。それで、子小連携はやはりいいものだと評価もありますので、継続してまいります。今のような、かなりつながりの深い連携は距離もありますので厳しいですが、学校施設の中身でそういったスペースを設けるなどして、連携方法を今後検討していくことになるかと思えます。
委員	先ほど部長の話にあったように、環七をまたいでの話ですか。
教育施設計画推進担当係長	そうですね。連携の中での話になります。
委員	というと、どちらかが移動していくわけですね。
教育施設計画推進担当係長	連携のやり方としてはそうですね。これから検討していく必要があるかと思えますけれども、スペースはこれから検討していくことになりますので、そういったスペースを確保するのは1つの案かと思えます。杉四小のほうでの跡地活用を検討する中でも、そういった意見を挙げていきたいとは思っております。
委員	もう1つだけなのですけれども、冬場グラウンドに日影ができてしまうという問題に関しては、最終的にはそれに対応できるとすれば、人工芝が出ているぐらいです。人工芝を張ることもいとわないということでもよろしいのでしょうか。
学校整備担当部長	ちょっと検討させてください。今、即答できないので。いろいろ設計事務所と区で打ち合わせをして、何ができるのか議論してからお答えします。
会長	それはずっと課題としては残ると思えます。
委員	以前いただいた平成26年5月20日の参考資料に、視察先候補校の概要に現高円寺中学校の校庭面積が7,253㎡と出ています。これが、今回の資料の既存のところは5,300㎡になっているのですけれども、その違いは。
学校整備担当部長	前出した7,300㎡という面積は、こちらの図面で言うと、この茶色く塗った面積全体プラス、プールだとか校舎以外の面積をカウントしたのになります。きょうお示ししている5,300㎡というのは、事実上こちらの校庭として使っている部分です。体育館のまわりだとか、玄関の通路だとか、そういうものも含めてしまったのが7,300㎡だったということです。
学校整備課長	純粹に体育の授業や、グラウンドで遊ぶ有効の面積はどれだけかという数字が、既存ですと約5,300㎡ということになります。前に出した数字は、非常に紛らわしいのですが、高円寺中学校の敷地があって、その上に建っている建物を引いた面積が7,300㎡です。混乱を招いたところはお詫びをいたします。
委員	ということは、敷地面積から建築面積を引いたものですね。
学校整備課長	そうですね。それが7,300㎡です。
委員	そうすると、その5,300㎡というのは、渋谷本町学園の校庭と大体同じぐらいの大きさというイメージですか。こっちのほうが広く、渋谷本町学園はとても狭く私は感じたのですけれども。
教育施設計画推進担当係長	第7回に参考資料ですが、ほかの先行事例の学校に状況を聞いた資料をお出ししています。その中では、渋谷本町学園が5,325㎡。ほかには、品川のほうでは、教育委員会に対し、どれぐらい有効ありますかと聞いたときには、算出方法が異なって参考程度ではございますが、4,700㎡や4,900㎡だという話はいただいております。実際

	見たところでは、渋谷本町学園ぐらいですので、あのイメージと同様の状況だというようにお考えいただければと思います。
会長	ほかにはいかがでございましょうか。
委員	素人で、とんちんかんな質問になってしまうのかもしれないのですが、例えば、1階をだっ広い何かにして、2階に校庭を持っていくとか、3階に校庭を持っていくというのはどうでしょうか。そういう発想はできないですか。そうすると、校庭には少し日が当たるのかなと思います。
学校整備担当部長	下が部屋になっていて、屋上をたくさんとってそこを運動場にしたいということですか。
委員	校地の半分、上に校舎がなくて校庭ができる。
学校整備担当部長	1階を広場みたいにして、天井を高くしたとしても日は入ってくるのでしょうか。でも、奥まで日が当たらない可能性がありますから、やはりピロティ形式の運動場というのは学校には不向きかなと思います。 要は、広場の下にあるバスターミナルと同じになってしまうのですね。やはりそうすると、夏だとか冬だとか、日本は四季があって、風の向きが非常に変わるので。駅前広場を見ていただければわかるのですが、すごく空気がこもる時期があったり、寒い時期があったり、環境によってすごく左右されます。日が当たらないし、空気の対流もよくないので、環境的には非常に、建築的にはいい環境ができるとは思わないですね。学校にはちょっと不向きかなと。 それよりも、屋上を活用して屋上に人工芝を敷いて、屋上を子どもたちが遊ぶスペースにするほうがすごくいい空間にはなるかなと思います。
会長	いろいろありますが、C、Dについてほかにはございませんでしょうか。 次回にどうするかという話にもつながってくると思うので、ここで4つを相手にするか、2つにするかというので、設計事務所さんにとっても次の修正案が出しやすいのではないかなと個人的には思います。できたらA、BかC、Dのどちらかというところで進めてまいりたいと考えますが、今回、お話を伺っている限りでは、C、Dではないほうというふうな感じがするのですが、そんな方向性で構わないでしょうか。結構大きなところ。もちろんグラウンドをどうするかとか、そういうところも絡みますし、仮設校舎をどうするかというところでもあります。A、Bでいくとなれば、仮設校舎はないということと、グラウンドは次の課題として残ります。ただ、1年中使えるグラウンドにしないと教育活動に支障が出るので、そこは工夫なり検討することになってくると思います。
委員	仮設の校舎を建てた場合というのは、教育活動の諸室については全部入るのだけでも、給食室というのはないのですか。
学校整備課長	入ります。ほかの学校でも改築をやっていますけれども、今ある仮設校舎は全ての機能をそこに入れます。
会長	お昼が出ないのは考えられない。大丈夫です。
学校整備担当部長	私から提案なのですが、先ほど意見があったとおり、何となくC、Dは仮設の問題、校庭の広さは、よくないのはわかるのだけれども、きょうこの場で意見をまとめることはできないという話であれば、ご意見があったとおり、AとBについては、

	<p>北側に校庭を配置したときに日影がどういう影響があって、日影の影響をどう下げられるか。その高さだとか建物の形状をどう変えれば、午前中だけでもちょっと日が入りますとか、あと、路盤についてどういう材質にすれば子どもたちのためにもいい校庭ができるかという提案をさせていただきたいと思います。B案については、東西南北に配置することが前提だったので校舎が東側に配置してあります。これを環七側の西側に配置して、東側に校庭ができれば、南と東の光が入る校庭ができるわけですから、1つ追加してもいいのではないかと思います。</p> <p>次回に、その2つの改善点を入れた案をつくりなおしてご提示しますので、再度その北側校庭のあり方についてそこでもう1回ご意見を伺わせていただければありがたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>というご提案ですが、特にご異議はございませんでしょうか。</p> <p>(「はい」という声あり)</p> <p>では、今のお話のような形で、設計事務所さんにはお手数をかけますが、再提案という形で準備をお願いできると助かります。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、配置計画につきましては、また次回ということになりますが、きょういただいたご意見を踏まえながら、またご意見を伺えればと思います。よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、次第4、その他につきまして、事務局からお願いできますか。</p>
<p>教育施設計画 推進担当係長</p>	<p>事務連絡になります。前回の視察内での質疑応答、簡単に要点程度ではありますけれども、今回の開催通知に添付しておりましたので、参考にごらんください。本日の懇談会の会議録は、速記者さんに入っていておきますので、作成し次第送付いたしますのでご確認いただきたいと思います。よろしくお願ひします。</p> <p>次回の懇談会ですが、この後、会長に日程調整をお願いしたいと思います。次第2の今後の進め方でも少し説明させていただきましたけれども、毎月の開催、もしくは委員のご意見もあつたとおり、もう少しタイトにやる可能性もございます。3校長や設計事務所のほうに日程調整を行う段階でかなり候補日が絞られてしまうのは大変申し訳ありませんが、限られた候補日の中で皆さんのご都合をお伺ひして、出席者が多く見込まれる日に、欠席者がいても開かせていただいて、懇談会を回していければなと思っておりますので、どうぞご理解いただきますようよろしくお願ひいたします。次回は、8月下旬を予定しておりましたが、候補日が設けられなくて9月の頭になってしまうのですけれども、会長のほうから日程調整をよろしくお願ひできればと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>では、次回については、きょう委員の皆様方からいただいたご意見をもとに再提案という形で出てきます。日程につきまして、皆さんにお伺ひします。</p> <p>(次回懇談会、日程調整)</p> <p>それでは、次回懇談会、第12回になりますが、9月2日水曜日午前10時ということにしたいと思います。次回も基本設計について、配置案などをこのようにプロジェクターで説明させていただきたいと思いますので、今まで3校で会場を回してりましたが、しばらくはこの部屋での開催でよろしいでしょうか。それでは、こちらの会場でよろしくお願ひいたします。</p> <p>ほかに何かこの場であれば出していただければと思いますが。よろしいでしょう</p>

か。

それでは、長くなりましたが、以上で第 11 回懇談会を終わらせていただきます。
ありがとうございました。